

第 37 回研究大会プログラム

(敬称略)

■ 8 月 28 日(金)

15:00~16:00 学会賞審査委員会(ZOOM 開催)

16:00~18:00 理事会(ZOOM 開催)

■ 8 月 29 日(土)

13:00~14:00 会員総会(ZOOM 開催)

14:30~16:00 京都大学企画・特別講演(ZOOM 開催)

司 会:徳賀 芳弘(京都大学)

講演者:手塚 正彦(日本公認会計士協会会長)

演 題:「企業情報開示と企業行動変革」

■ 8 月 30 日(日)

自由論題報告(オンデマンド開催)

(報告 25 分, 質疑応答はメールによる)

京都大学企画・ワークショップ(オンデマンド開催)

オンデマンド開催の企画につきましては, 時間の設定はして
おりません。当日随時, ご参加頂けます。

12:30~14:15 統一論題報告(ZOOM 開催)

14:45~15:45 統一論題討論(ZOOM 開催)

【第 1 会場】

(1)岡村 晋太郎(学習院大学大学院生)

「除去費用と取得原価の認識規準」

(2)挽 直治(日本大学)

「退職給付債務のオフバランス化—給付債務の保険会社への
譲渡問題—」

(3)佐藤 恵(千葉経済大学)

「リース会計における貸手の会計処理」

(4)金子 友裕(東洋大学)

「『時価の算定に関する会計基準』の意義」

【第 2 会場】

(1)奥原 貴士(四日市大学)

「組織再編企業の将来業績の決定要因に関する実証研究—の
れん」とその他主要な資産・投資との比較分析—」

(2)Junjian Gu(筑波大学), Liang Chen(University of Melbourne)

「Pay for a Moral License: Philanthropy and Irresponsibility」

(3)Clémence Garcia(学習院大学), 板橋 雄大(東京経済大学)

「Accounting for Intangible Assets in the Pharmaceutical Industry」

【第 3 会場】

(1)高井 駿(学習院大学大学院生)

「退職給付会計における利息費用認識の意義」

(2)大西 新吾(仁愛女子短期大学)

「意味論の方法—会計学(会計記号論)からの一提言—」

(3)川端 千暁(関西学院大学)

「財務諸表監査における合理的注意(reasonable care)の研究」

【京都大学企画・ワークショップ】

(1)モデレータ:竹澤 祐丈(京都大学)

「アカデミック・ライティングのスキルを磨く」

(2)モデレータ:澤邊 紀生(京都大学)

「事例研究への多様なアプローチ」

12:30~14:15 統一論題報告

「IFRS が日本の会計制度および企業行動に及ぼす影響」

座 長:薄井 彰(早稲田大学)

座長解題 12:30~12:45

(1)浅野 敬志(東京都立大学) 12:45~13:15

「地域別セグメント情報の開示選択とアナリスト予想への
影響」

(2)宮本 幸平(神戸学院大学) 13:15~13:45

「原価会計から公正価値会計への変化の要因および影
響の考察」

(3)山田 辰己(中央大学) 13:45~14:15

「IASB の最初の 10 年の戦略と歩み」

14:15~14:45 休憩

14:45~15:45 統一論題討論

座 長:薄井 彰

パネリスト:浅野 敬志, 宮本 幸平, 山田 辰己

国際会計研究学会第 37 回研究大会を、京都大学との共催で、京都大学において開催させて頂くことになりました。

日本の会計制度は、IFRS の強い影響のもとで不断の進化を遂げています。本大会の統一論題では、2000 年以降、IFRS が日本の会計制度設計や企業行動をどのように変容させたのか、あるいは変容させなかったかについて、理論、実証、歴史の観点から、3名の先生にご報告頂き、会員の皆様と共に、今後の国際会計のあり方について改めて考えてみたいと思います。

京都大学企画・特別講演では、日本公認会計士協会会長の手塚正彦先生をお招きし、「企業情報開示と企業行動変革」についてお話し頂きます。大会 3 日目の京都大学企画では、本学の 2 名のスタッフが、若手研究者を主たる対象として研究リテラシーのワークショップを行います。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、本大会では、韓国セッション他いくつかのイベント等が中止となりました他、大会自体も遠隔形式の開催となりました。会員の皆様にはご不便をお掛けしますが、何卒ご諒承くださいますよう、伏してお願い申し上げます。

2020 年 7 月吉日

参加費

会員 2,000 円、非会員 3,000 円

京都大学の学生・大学院生、教職員は無料(JAIAS 会員は除く)

同封の郵便振替用紙にて、8 月 14 日(金)までにお振り込みください。お振込みをもちましてご参加申込みとさせていただきます。なお不参加の場合でも、払戻しは致しませんので、ご諒承ください。

国際会計研究学会第 37 回研究大会準備委員会

委員長 藤井 秀樹

委員 徳賀 芳弘

協力委員 井上 定子(兵庫県立大学) 今枝 千樹(愛知産業大学)

姜 周亨(環太平洋大学) 佐野 哲哉(名古屋商科大学)

孫 美灵(流通科学大学) 富田 知嗣(関西大学)

日野 修造(中村学園大学) 宮本 幸平(神戸学院大学)

渡邊 誠土(金沢学院大学)

裏面の大会プログラムにおいてご案内致しました通り、本大会は、ZOOM とオンディマンドの 2 通りの方法で開催致します。

ZOOM 開催におきましては、参加登録された会員の皆様に、準備委員会から事前にお知らせする ZOOM の招待 URL により、各自参加して頂くことになります。

オンディマンド開催におきましては、大会ウェブサイト事前にアップロード致します報告動画を視聴して頂くことになります。視聴にあたりましては、準備委員会からお送りする URL とパスワードが必要です。質疑は、各報告者とメールによって個別に行って頂きます。

参加登録された皆様に遠隔参加に必要な情報をお届けするために、皆様のメールアドレスが必要になりますので、参加費のお振込みとは別に、下記の要領で、連絡先アドレスのご提供を頂きたくお願い申し上げます。

参加費のお振込みを確認した上で、遠隔参加に必要な情報とパスワードを、ご提供頂いたメールアドレス宛てに、折り返しお届けします。ご多忙の折り、お手数をお掛けしますが、以上の件宜しくお願い申し上げます。

1. メール の 件 名

「JAIAS 第 37 回研究大会参加登録」としてください。

2. 記 載 事 項

ご氏名、ご所属、メールアドレス

3. メール の 宛 先

hujii@econ.kyoto-u.ac.jp

4. 締 切

8 月 17 日(月) 17:00

CPE 単位認定

日本公認会計士協会の CPE 単位認定を申請中です。最新の状況については、学会 HP をご覧ください。

<http://jaias.org/>

2020 年 8 月 28 日(金)～30 日(日)

統一論題

IFRS が日本の会計制度および

企業行動に及ぼす影響



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

大会準備委員会

〒606-8501 京都大学大学院経済学研究科

藤井研究室

TEL/FAX: 075-753-3458

hujii@econ.kyoto-u.ac.jp

CPE 認定研修のご案内

- ・第 37 回研究大会は、以下のプログラムは、日本公認会計士協会の CPE 認定研修となっております。

日付	時間	プログラム	認定単位
8 月 29 日 (土)	14:30~16:00	特別講演	2 単位
8 月 30 日 (日)	12:30~14:15	統一論題報告	2 単位
8 月 30 日 (日)	14:45~15:45	統一論題討論	1 単位

【CPE 認定研修の単位申告にあたってのお願い】

- ※ 8 月 27 日までに、miyamoto@ba.kobegakuin.ac.jp 宛に単位認定を希望するプログラムをお知らせください。

メール件名： 『CPE 認定研修 所属 研修登録番号 氏名』

- ※ 学会当日、ZOOM 画面に漢字氏名を入力してください(出席の確認をさせていただきます)。
- ※ プログラム受講後、9 月 2 日までに、miyamoto@ba.kobegakuin.ac.jp 宛にレポートを送付してください。内容まとめ・ご意見・ご感想など、1 プログラム 1 0 0 字以上にてお願い致します (ワードまたは PDF ファイルにて送付)。
- ※ CPE 単位申告は、第 37 回研究大会準備委員会が行います。

以上

国際会計研究学会第 37 回研究大会準備委員会